

科学技術庁長官賞 『研究功績者』を受賞

岩尾憲三研究主査が
栄誉に輝く!!

(電気利用技術研究所 農水産担当)

Academic Merit Award was Given by Director-General of Science and Technology Agency.

The Chief Researcher, Dr. Kenzo Iwao
was Honored!!

(Electrotechnology Applications Research
& Development Center, Agriculture &
Fisheries Section)

電気利用技術研究所でバイオグループ長を務める岩尾憲三研究主査がこのほど科学技術庁から平成5年度長官賞「研究功績者表彰」を受賞した。これは「植物成育監視システム等の生体情報計測技術の開発とその応用」の研究業績に対して授与されたもので同賞の受賞は中部電力で初めてである。

Chief researcher, Dr. Kenzo Iwao who leads the biotechnology research group in the Electrotechnology Application Research & Development Center, received the Director-General's award for Academic Merit of the year 1993, from the Science and Technology Agency. He got the prize, because of his achievements in the research of the "Development of a plant growth monitoring system and biological information measuring techniques, and their applications to agriculture". This is the first time that this prize has been awarded to the employee of Chubu Electric Co. Inc.

1 科学技術長官賞とは

科学技術週間の関連行事の一つとして、毎年研究に携わる人を対象に贈られており、科学技術功労者、研究功績者、科学技術振興功績者など5部門ある。

『研究功績者』表彰は、研究活動により、社会・経済に対する貢献の可能性ある優れた成果をあげた研究者を賞揚するものである。同賞を受賞した岩尾憲三研究主査は「これもひとえに十数年間に亘る職場でのご理解とご支援さらに諸先生方のご指導の賜と考えております。また全国各地から頂いたお祝いの言葉には胸が熱くなりました。この場をお借りして心からお礼申上げたい」と感謝と受賞の喜びを語っている。



岩尾研究主査

2 受賞対象となった研究業績の要旨

今日の施設型農業では機械化や栽培環境の制御が一段と進み、栽培環境の温度や湿度、水耕養液の濃度やPHなどが高精度で計測されるようになった。しかし、製品となる作物の成長の計測や診断についてはほとんど考慮されておらず、その技術の確立が農業の近代化を進めるうえで強く望まれている。

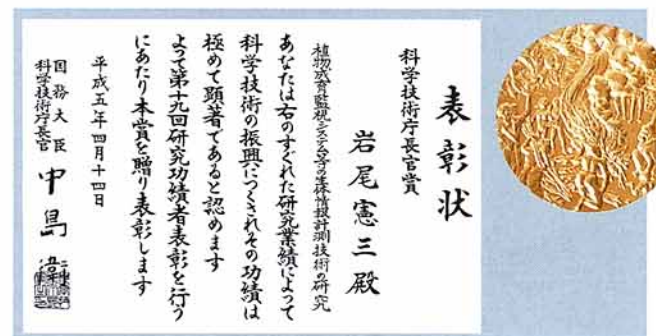
本研究は、作物の生理や機能を人体と同様の視点で計測しようとしたもので、まず、栽培管理上、特に重要な植物の体内水分の変化を非破壊・連続測定する技術を開発した。次に、成育の診断・評価に不可欠な成長や肥大を非破壊・連続測定する技術の開発を行った。

さらに、上述の技術を画像処理とパソコンを組み合わせることにより、さらに発展させ、植物の成育監視システムを開発して製品化した。これらの技術はブドウの自動灌水や作物の成育診断、さらには作物の工場的生産（植物工場）などに応用され、品質の向上や省力化に大いに貢献しつつある。

これらの成果は、今後の農業の近代化や生産性向上を促すだけでなく、その計測手法は地球環境対策を進めるうえで、有用な植物の特性を明らかにするための不可欠な手段になると考えられる。



歪み計による果径変化の測定状況（ブドウ）



表彰状と金メダル